

市丸小学校のガシャモク保全活動について

市丸小学校では、校区の池（お系池）に生育しているガシャモクの保全活動に取り組んでいる。ガシャモクとは、絶滅危惧種ⅠA 類の水草で、日本では、現在、群生自生しているのはこの校区のお系池だけであり、大変貴重な植物である。

保全活動の主な内容として、①全校で一人一鉢ガシャモクの栽培、②ガシャモク生育池の調査、③お系池の清掃 などである。具体的には、以下の内容である。

- ① 校内で行っている栽培・観察は、学校にミニお系池を作り、生育池の土をとり、育成している。全校で一人一鉢、ガシャモクを育成し、毎朝、アオミドロをとったり、水槽を洗ったりしながら、栽培活動を継続している。
- ② ガシャモク生育池の調査は、毎年6月に6年生がお系池の水質調査を行っている。これは、「身近な水環境の全国一斉調査」と活動と同じくし、COD等の水質調査を行っている。池の真ん中、湧き出し口、岸辺の3か所をボートに乗って水質調査をしている。
- ③ お系池に育っているガシャモクに付着しているアオミドロを除去するために、お系池の水を抜き、池全体の清掃を行っている。



校内のガシャモク保全活動



【一人一鉢 ガシャモク栽培活動】



【ガシャモク(殖芽)の植え替え】

6年生 お糸池の水質調査

